

【指標設定の考え方(案)】

- ①目標及び施策にそれぞれの階層に応じた指標を設定
- ・目標には、目標の実現に向けた施策の最終的な効果を測る指標（市民意識）を設定

・施策には、施策を構成する事業の高次の効果を測る指標を設定
- ②目標及び施策に設定する指標を計画の「成果指標」とする
- ③事業には、事業自体の実績や成果を測る指標を「事業指標」として設定し、別途管理
- ※成果指標の目標値の達成状況は、計画の中間評価・最終評価に併せて把握
- ※計画の進行管理にあたっては、事業指標の推移や各事業の進捗状況をもとに施策の評価を行うとともに、中間評価・最終評価においては、目標や施策の成果指標の達成状況もあわせて総合的に分析・評価を行う。

市民アンケート調査の実施について

- (1)実施時期
- ・成果指標の初期値・目標値設定のため、令和8年2月に実施予定

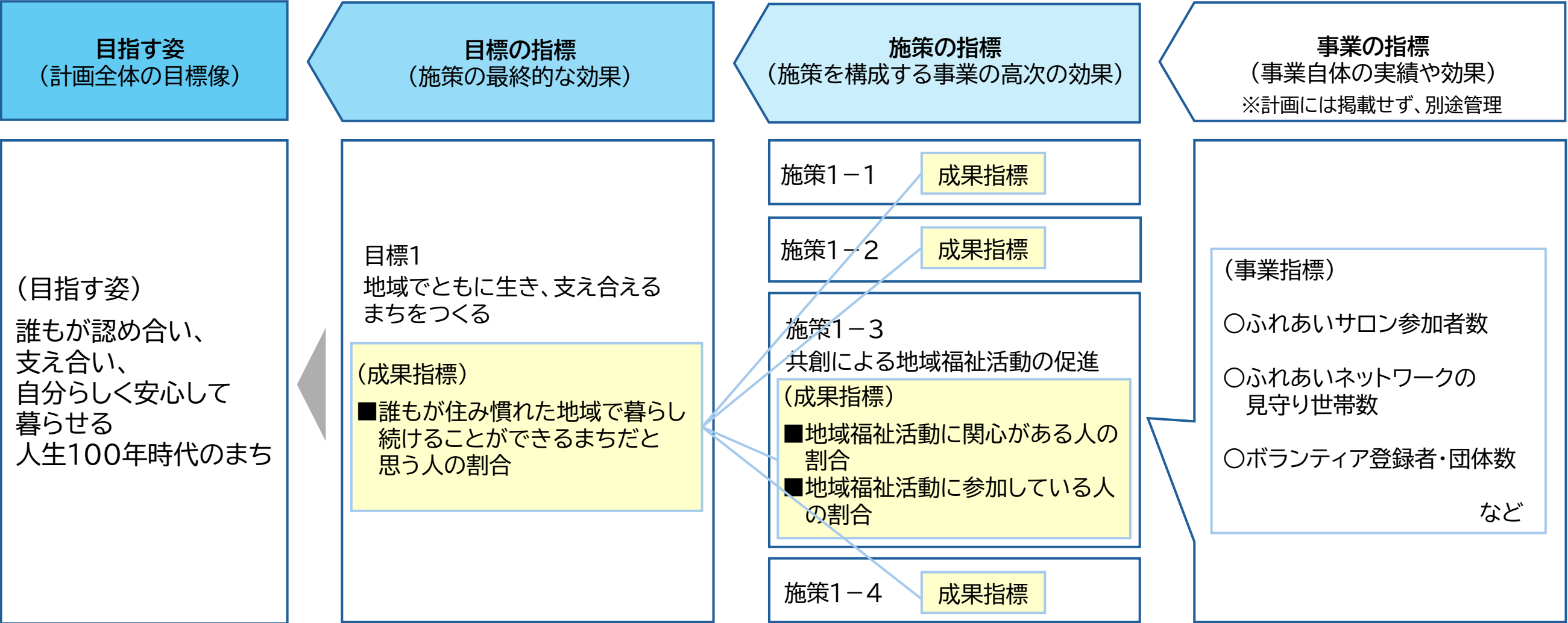
・計画期間中は中間評価、最終評価に併せて実施(3年に1回)
- (2)調査対象者
- 福岡市内に居住する下記①②の市民

①満18歳以上の者

②障がい者等(身体・知的・精神・難病)

○調査人数:①6,000人、②3,000人
- (3)調査方法
- 郵送またはインターネットでの回答を想定

【指標設定のイメージ(例)】



【指標の設定案】

○調査対象者：①満18歳以上の者、②障がい者等(身体・知的・精神・難病)

目 標	施 策		事業指標(例)
	成果指標	成果指標	
地域でともに生き、 支え合えるまちをつくる	■誰もが住み慣れた 地域で暮らし続ける ことができるまちだと思 う人の割合	(1－1)インクルーシブな まちづくり	■多様性が尊重されていると思う人の割合 ■ユニバーサルデザインに基づく取組みの認知度 〔市政アンケート調査〕 ○障がい者週間記念の集い来場者数 ○市有地のベンチ設置数 ○生活関連経路のバリアフリー化率 など
		(1－2)自分らしく暮らし 続けられるまちづくり	■人生100年時代に向けた自分の望む生き方について考えている人 の割合 ■社会的な繋がりを持っている人の割合 ■認知症の人が自分らしく暮らし続けることができると思う人の割合 ○死後事務支援実施件数 ○日常自立支援事業契約者数 ○ユマニチュード講座延べ受講者数 など
		(1－3)共創による地域 福祉活動の促進	■地域福祉活動に関心がある人の割合 ■地域福祉活動に参加している人の割合 ○ふれあいサロン参加者数 ○ふれあいネットワークの見守り世帯数 ○ボランティア登録者・団体数 など
		(1－4)包括的な支援の 仕組みづくり	■困りごとを相談できる人がいる、または相談できる窓口を知って いる人の割合 ○地域包括支援センター、区障がい者基幹相談 支援センターにおける相談件数 ○区障がい者基幹相談支援センターによる地域と 連携した取組み件数 など
市民一人ひとりが 健やかに自分らしく 活躍できるまちをつくる	■誰もがいつまでも 意欲や個性に応じて 活動できるまちだと思 う人の割合	(2－1)健康づくりの 推進	■健康づくりに取り組んでいる人の割合 ■初めて要介護2以上の認定を受けた年齢の平均 〔福祉局調べ〕 ○がん検診、特定健診受診率 ○よかトレ実践ステーション活動数 など
		(2-2)健康づくりを支え る社会環境の整備	■健康づくり活動に取り組む企業・団体数 〔保健医療局調べ〕 ○校区における健康づくりに関する活動状況 ○健康教育・健康相談参加者数 など
		(2-3)社会参加の促進	■社会参加活動を行っている高齢者及び障がい者等の割合 ○老人クラブ活動状況 ○シニア活躍応援プロジェクト実施状況 ○障がい者雇用サポートデスクの活動状況 ○生活訓練事業実施件数 など
全ての人が安心 して暮らせるまちをつくる	■保健・医療・福祉が 充実し、誰もが安心 して暮らせるまちだと思 う人の割合	(3-1)適切な医療の提 供、福祉サービス・支援 の実施	■福祉の充実に関する満足度 〔市政に関する意識調査〕 ■医療の充実に関する満足度 ○障がい福祉サービスの利用者数 ○介護保険事業者研修の受講者数 ○DX介護事業所の数 ○病院における事業継続計画(BCP)策定率 など
		(3-2)特に困難な状況 にある人の支援の充実	■特に困難な状況にある人への支援策の認知度 ○市内事業所を利用する重度障がい者数 ○レスパイトケア事業実施件数 ○ヤングケアラー相談支援事業の延べ利用者数 ○生活自立支援センター相談対応件数 など
		(3-3)住まいや暮らしの 支援の充実	■高齢者や障がい者などの住まいや日常生活に関する支援が充実 していると思う人の割合 ○住まいサポートふくおかの賃貸契約成約世帯数 ○日常生活用具の支給件数 など
		(3-4)健康・安全な環境 づくり	■感染症対策や食の安全性の確保など、市民の健康被害の 発生予防・拡大防止に関する満足度 ○小児予防接種の接種率 ○薬物依存症に関する相談件数 など
		(3-5)災害への備えの 充実	■災害時の安心度(災害時に頼れる人がいる、安心して避難できる場 所があると回答した高齢者及び障がい者等の割合) ○医師会、県と連携した訓練、研修の実施件数 ○避難行動要支援者の個別支援計画の作成件数 など